

問題解決型スクールソーシャルワーカーとは



片山 薫(みどり・市民)
 ①7月に学芸大で小金井市のスクールソーシャルワーカー(SSW)中間報告があった。(ア)IBA問題解決型ケース会議中で、子どもの意見表明権は保障されているのか。(イ)学芸大のスーパードライズが今後必要。(ウ)小金井市子どもの権利条例には、「いじめを受けず安心して生き

る権利」が明記されている。文科省のいじめ対策の予算でSSWの安定雇用を。
指導室長補佐 (ア)子どもの考えや意見表明権は大切。本人や保護者から自身のニーズを把握した上で会議や支援を行っている。ケース会議への子どもも参加事例もある。(イ)学芸大に要請をしたい。(ウ)文科省予算について

非正規労働の改善は次世代への責任



漢人明子(みどり・市民)
 非正規雇用の30代男性の未婚率は75・6%で、正規雇用の2・5倍。6年前から30ポイント増加したと、厚生労働省が8月末に発表した。全労働者の3分の1が非正規雇用で、女性が70%、若年層では2人に1人となっている。市の非常勤職員もかつては半数以上が60代男性だ

だったが、今は全年齢層に及び男女逆転し、人数も倍増している。待遇改善は緊急課題だ。
(ア)市の事業の委託先の適正な労働条件の確保のための公契約条例の制定が遅れている。今後の予定。(イ)市職員の非常勤の比率と30時間勤務職員の平均給与。(ウ)4月から試行が始まった非常勤リーダー制の今後の予定。(エ)

非常勤職員の報酬アップを。管財課長 (ア)庁内専門委員会を設置して、年度内に素案作成。パブコメを実施する。
市長 (ア)来年の9月議会前に提案できるよう努力したい。(エ)制度導入時から年齢構成等大分変わった。非常勤の力なくして市政は運営しにくい。
職員課長 (イ)27・2%。205万8千969円で昨年より下がった。(エ)近隣7市では5番目。再調査して協議する。
総務部長 (ウ)10月に労使による検証協議を行い、本実施へ。

くらしを守るために保険税負担増の見直しを



板倉真也(日本共産党)
 (ア)国保税、介護保険料、後期高齢者医療保険料が値上げされ、怒りが寄せられている。この声をどのように受け止めているのか。(イ)減免基準のハードルを低くして、未納・滞納に陥る人を増やさないようにすべき。(ウ)国保税、介護保険料を値上げ前に戻すべき。(エ)後期高齢者医療保

険制度を廃止し、老人保健制度に戻すことを国に求めるべき。
市民部長 (ア)最終的には一定ご理解を得ることができたと受け止めている。(イ)保険税負担の公平という視点で納税義務者の生活状況を考慮したきめ細やかな対応を行い、滞納額減少に努めてまいりたい。(ウ)多摩26市平均より低い額となっており、ご

理解いただきたい。
福祉保健部長 (ア)最終的には一定のご理解を得ることができたものと受け止めている。(イ)国から3原則を遵守するよう、強く指導されている。ご理解を賜りたい。(ウ)負担能力に応じて保険料を負担しあい、みんなで支える制度となっている。ご理解を賜りたい。
市長 (エ)後期高齢者医療制度は、それなりの役割を果たしてきた。制度そのものをなくしてしまうということに関しては、非常に危惧を感じているところ。



抗菌バケツに入った生ごみを回収する小平市

高齢者が安心して暮らせる住まいと地域を



田頭祐子(みどり・市民)
 ①(ア)要介護の高齢者宅のごみを玄関まで取りに来る「ふれあい収集」を、介護ヘルパーが分別から手伝える仕組みにしないか。(イ)自立支援の配食サービスは週3回ではなく毎日必要だ。(ウ)バリアフリー等介護保険での住宅改修の補助制度は、補助後の減額された額で支払えるよう

にすべきだ。(エ)市内の空家調査を行い、高齢者用グループリビングなどを検討しないか。
介護福祉課長 (ア)介護保険範囲が基本だが今後は検討したい。(イ)見守り観点の配食と、介護保険との組合せで考えたい。
福祉保健部長 (ウ)1割で工事が出来るため、業者の営業活動の活発化が予想され望ましくな

い。
まちづくり推進課長 (エ)住宅活用方法は庁内で確認が必要。
 ②(ア)モデル地区を決め、生ごみは燃やすごみに入れず別途収集し堆肥化させ、可燃ごみの減量を。(イ)プラごみ減量には、Rマーク付きプラの分別と無料収集を。(ウ)発生抑制のため、ペットボトルの業者回収を進めよ。
環境部長 (ア)生ごみ減量は現状の継続で進んでいく。(イ)無料袋は他のごみが混ざる。Rマークプラの分別は難しい。(ウ)業者へ自主回収を今後も託していく。



新庁舎建設予定地内のリサイクルセンターの移転が課題

子どもの「くらし」を守る学校づくりを



森戸洋子(日本共産党)
 ①いじめ問題について、(ア)小金井市の実態はどうか。(イ)小金井市子どもの権利条例において大人の責務をうたっているが、とりわけ、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーは重要な役割を果たしている。来年度も配置を継続し、充実させないか。(ウ)子どもオンブズマンの創設で、学校外の相談・支援体制の確立を求める。
学校教育部長 (ア)件数は明らかにできないが、真摯に受け止めて対応する。(イ)現行通りの配置で検討している。(ウ)国や都の動向を踏まえ研究したい。
 ②子育て増税(年少扶養控除の廃止)に伴い、市は国の連絡文を無視したことによって、保

育料が値上がりした。(ア)影響はどうか。(イ)保護者へ説明すべきではないか。(ウ)保育料の見直しを求める陳情書を市議会は賛成多数で採択した。市長は議会の意思を尊重すべき。
子ども家庭部長 (ア)409世帯。63・7%に影響が出ている。
市長 (イ)保護者へは文書で知らせた。(ウ)新しい施策とはなりにくい。
 ■その他に、リース庁舎の早期解消と新庁舎建設を目指し、リサイクル作業所等の移転準備を進めるべきと提案。

生ごみを燃やすごみにしないために



渡辺大三(みどり・市民)
 ①(ア)生ごみの全量の分別収集・別途処理に向けて、検討・準備を行うべきではないか。(イ)分別収集して、乾燥工程までは市内で行い、市外で堆肥化を行うという方法もあるのではないか。
環境部長 (ア)生ごみ全量の分別収集は困難であると考える。

(イ)周辺にお住まいの方々の理解と協力がなければ不可能である。
 ②市内の廃棄物処理施設の再配置計画は、どのようなスケジュール、どのようなかスケジューンで検討、決定していくのか。
ごみ処理施設担当部長 企画当局にも密接に関係している。きちんとやるようお願いする。
 ③国民体育大会について。来

年の東京大会開催に向けて、本年度の岐阜国体視察が行われる。市職員の旅費だけを公費で計上し、スポーツ関係団体の代表者(団体の競技式典責任者)には旅費は自腹を切るよう求めたそうだが、一体どういうことなのか。
生涯学習部長 予算がないのでそういう話になった。対応する。
 ■他に、市民に愛されている樹木が突然切り倒されないよう条例制定の検討を求めました。



購入費8割補助でも普及が鈍化している生ごみ処理機